

<p>科目名：歯科予防処置Ⅲ〈う蝕予防処置〉</p>	<p>必</p>	<p>1 単位</p>
<p>(Prophylactic Treatment Prophylactic Technique in Dental Caries Prevention)</p>		
<p>履修年次/時期：2年次 前期 授業形態：実習</p>		
<p>担当教員：山本裕子（実務経験有）、小堀陽子（実務経験有）</p>		
<p>学修目的</p>	<p>う蝕を予防し、人々の歯・口腔の健康を維持・増進させるために専門的な技術、知識および態度を修得する。 DP2、3 CP2、3、5、6に関連する。 科目 No.S2C10H14</p>	
<p>到達目標</p>	<p>①う蝕予防処置に関連する生活習慣・全身疾患について説明できる。 ②う蝕予防処置（臨床的效果・作用機序・安全性、便宜性）について説明できる。 ③う蝕活動性試験（条件・検体・評価項目）について説明できる。 ④う蝕活動性試験を行ない、判定結果からう蝕予防プログラムを立案できる。 ⑤フッ化物歯面塗布（種類・取り扱い）について説明できる。 ⑥フッ化物歯面塗布の適応歯・術式について説明し、実施できる。 ⑦フッ化物洗口（種類・洗口方法）について説明できる。 ⑧フッ化物配合歯磨剤（種類・特徴・使用方法）について説明できる。 ⑨小窩裂溝填塞法（種類・特徴・適応症・術式）について説明できる。 ⑩う蝕予防処置におけるメンテナンスの目的・方法について説明できる。 ⑪PTC・PMTCについて説明できる。 ⑫フッ化ジアンミン銀塗布について説明できる。</p>	
<p>授業概要</p>	<p>う蝕予防処置（フッ化物歯面塗布法、小窩裂溝填塞法）やその他関連項目（う蝕活動性試験、フッ化ジアンミン銀塗布、PMTC）の目的、方法、所要条件、実施上の注意事項等の知識および実践を学ぶ。</p>	
<p>評価方法</p>	<p>授業態度および提出物（レポート、ループリック等）：20%と本試験：80%の総合評価。 試験に対するフィードバックは個別に行う。</p>	
<p>予習・ 復習時間</p>	<p>【予習】0.2h 【復習】0.2h</p>	
<p>教科書</p>	<p>A：『最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版』全国歯科衛生士教育協議会監修、医歯薬出版 B：『最新歯科衛生士教本 保健生態学 第3版』全国歯科衛生士教育協議会監修、医歯薬出版</p>	
<p>参考書</p>	<p>その他、随時紹介する。</p>	
<p>お問い合わせ 連絡先</p>	<p>山本 裕子 月～金 12：50～13：30 3号館2階 山本研究室 yamamoto.yuko@kdu.ac.j 小堀 陽子 月～金 16：40～17：00 3号館2階 教員研究室 kobori@kdu.ac.jp *不在時はメールにてご連絡下さい。</p>	